

# 「陶片は語る」 ～発掘出土品に見る古代・中世の文字と符号～

期間：令和6年4月22日～6月19日 場所：岐阜県歴史資料館1階展示室

## 【展示概要】

今回の展示は、岐阜県文化財保護センターが過去に調査を行った遺跡の出土品の中から、文字や符号を伴った古代・中世の陶片についてご紹介するものです。

陶片に記された文字や符号には、当時の社会制度や地名、人名、年号など具体的なものを示すものから、神仏への祈りなど心の内面に迫るものがあり、時として古文書などからは知り得ない貴重な情報を私たちにもたらししてくれます。今回の展示を通し、郷土の古代・中世に生きた人々の暮らしや心情に少しでも思いを馳せていただければ幸いです。

## 【展示紹介】

**「美濃」国刻印須恵器（1～5）** 奈良時代初期のごく短い期間、老洞・朝倉窯（岐阜市）では「美濃」国の刻印を施した須恵器が焼成されました。国名を刻印した須恵器は全国でも美濃国だけで極めて特殊な遺物です。飛鳥時代、美濃国は「三野国」又は「御野国」と表記されており、「美濃国」と表記されるのは和同八年（708）以降とされるので、制作年代の上限を知ることができます。

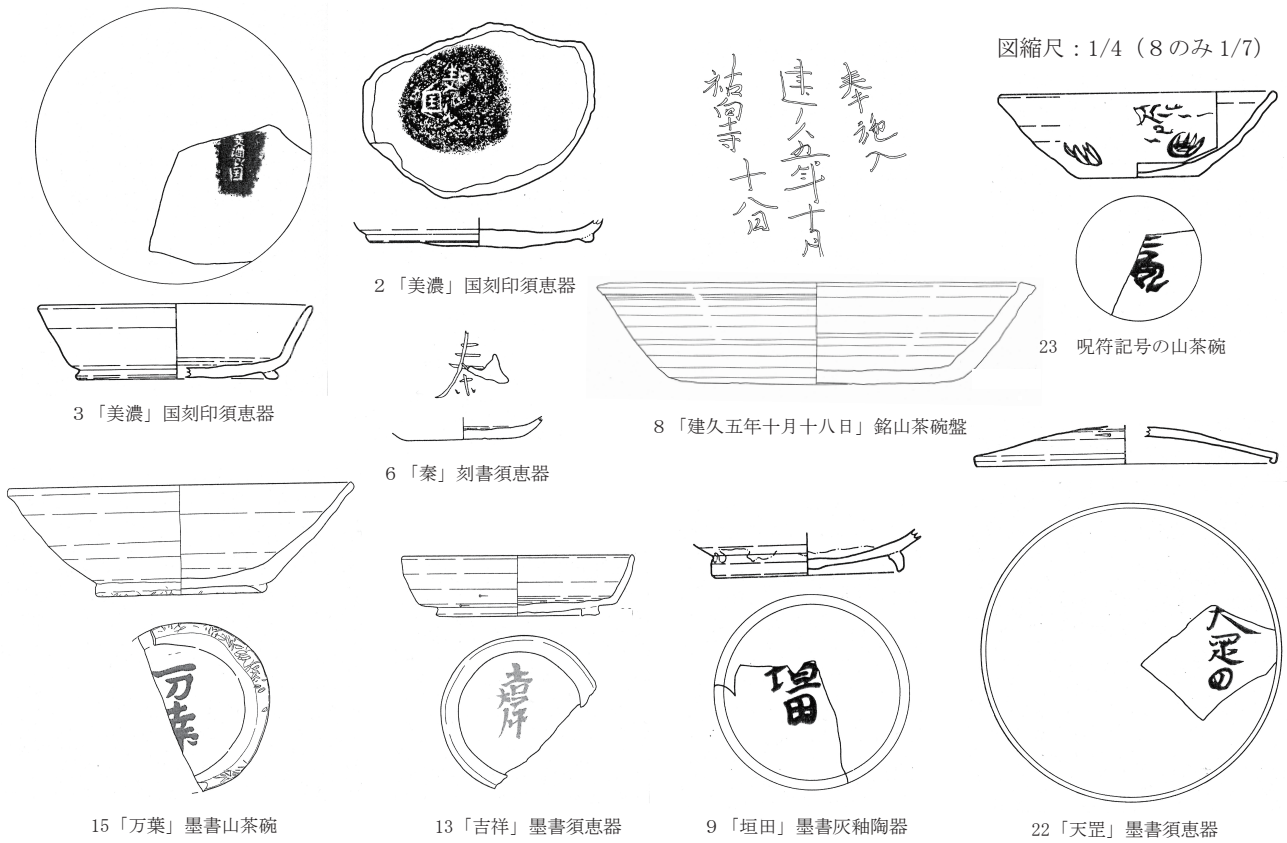
**須恵器生産に関わった人々（6・7）** 古代、全国屈指の須恵器生産地であった美濃須衛古窯跡群の一角に船山北古窯跡群（各務原市）があり、この一帯を渡来系の有力氏族・秦氏が治めていました。5号窯出土の奈良時代の須恵器にはまさに「秦」の文字が刻書されており、秦氏が窯業生産に大きく関与していたことを窺わせます。また4号窯出土の平安時代の須恵器には「田麿」と刻書されています。やや稚拙な筆致から陶工本人の名前である可能性も考えられます。

**制作年代を語る陶片（8）** 船山北3号窯（各務原市）出土の盤（大皿）には「奉施入 建久五年十月 十八日 祐向寺」と刻書されており、寄進者は不明ながら、鎌倉時代初頭の建久五年（1194）に祐向寺という寺院に奉納するために焼かれたことを伝えています。年号を記した中世陶器は、県内では他に僅か4例が知られるのみで、実際の制作年代を知るうえで大変貴重な資料です。

**「垣田」から「柿田」へ（9～12）** 柿田遺跡（可児市・御嵩町）は大規模な集落遺跡で、古代には律令制の地方行政機関（郡家）が存在した場所と推定されています。「柿田」は当地の大字名ですが、平安時代の灰釉陶器には「垣田」と墨書されており、「カキダ」の地名は少なくとも9世紀代まで遡ることが判ります。それ以前の地名は不明ですが、奈良時代の須恵器には「田（村）」、「田寸（寸は村の略字）」の文字が見え、「田村」は今には伝わらない古い地名であった可能性があります。

**「吉祥句」に託す想い（13～21）** 古代・中世の土器、陶器には吉祥句（おめでたい霊験ある言葉）を記したものが多く見られ、柿田遺跡出土の平安時代の須恵器には「吉祥」、灰釉陶器には「（萬）福」の文字が墨書されています。また堅田遺跡（垂井町）からは「万葉」と墨書された山茶碗が出土しています。「万葉」はその音から「よろずよ（万世）」にも繋がります。この他、「天」、「三ろく（弥勒?）」のような宗教的な文字や、「上」のように「奉る」に繋がる文字も見られます。

**「まじない」を秘めた器たち（22～24）** 古代・中世の人々は、土器や陶器に古い「まじない」のための神秘的な呪符（道教や陰陽道で使う文字・記号）を記すこともありました。柿田遺跡出土の奈良時代の須恵器には「天罡」と墨書されています。天罡とは北斗七星のことで、古代中国の道教では神格化され死後の世界を司る神とされました。また鎌倉時代の山茶碗には謎の符号がびっしりと書かれたものがあり、これらも何らかの呪符を表していると考えられます。



図縮尺：1/4（8のみ1/7）

3「美濃」国刻印須恵器

2「美濃」国刻印須恵器

6「泰」刻書須恵器

8「建久五年十月十八日」銘山茶碗盤

23 呪符記号の山茶碗

15「万葉」墨書山茶碗

13「吉祥」墨書須恵器

9「垣田」墨書灰釉陶器

22「天罡」墨書須恵器

展示番号	遺跡名	種別	器種	文字・符号	技法	時代・その他
「美濃」国刻印須恵器 -美濃最古のブランド品-						
1	柿田遺跡（可児市）	須恵器	有台杯	「美濃国」	刻印	底部内面、8世紀
2		須恵器	有台杯	「美濃国」	刻印	底部内面、8世紀
3		須恵器	有台杯	「美濃国」	刻印	底部内面、8世紀
4	広畑野口遺跡（各務原市）	須恵器	無台杯	「美濃」	刻印	底部内面、8世紀
5	橙ノ木洞遺跡（関市）	須恵器	無台杯	「美濃」	刻印	底部内面、8世紀
須恵器生産に関った人々 -渡来系氏族と美濃須恵窯-						
6	船山北5号古窯跡（各務原市）	須恵器	無台杯	「泰」	刻書	底部内面、8世紀
7	船山北4号古窯跡（各務原市）	須恵器	碗	「田磨」	刻書	底部外面、9世紀
制作年代を語る陶片 -寺院に奉納される焼物-						
8	船山北3号古窯跡（各務原市）	山茶碗	盤（大皿）	「奉施入 建久五年 十月十八日 祐向寺」	刻書	底部内面、12世紀
「垣田」から「柿田」へ -古い地名を残す陶片-						
9	柿田遺跡（可児市）	灰釉陶器	碗	「垣田」	墨書	底部外面、9世紀
10		瀬戸美濃	香炉	「柿田又市」	墨書	底部外面、19世紀
11		須恵器	有台杯	「田（村）」	墨書	底部外面、8世紀
12		須恵器	坏蓋	「田寸」	墨書	天井部内面、8世紀
「吉祥句に託す想い」 -霊験あることばと食器-						
13	堅田遺跡（垂井町）	須恵器	有台杯	「吉祥」	墨書	底部外面、8世紀
14	柿田遺跡（可児市）	灰釉陶器	皿	「（萬）福」	墨書	底部外面、10世紀
15	堅田遺跡（垂井町）	山茶碗	碗	「万葉」	墨書	底部外面、12世紀
16	柿田遺跡（可児市）	山茶碗	碗	「天」	墨書	底部外面、12世紀
17		山茶碗	小皿	「三ろく」	墨書	底部外面、13世紀
18		山茶碗	小皿	「上」	墨書	底部外面、13世紀
19		山茶碗	碗	「十」	墨書	底部外面、14世紀
20		山茶碗	小皿	「十」	墨書	底部外面、13世紀
21		山茶碗	小皿	「十」	墨書	底部外面、13世紀
「まじない」を秘めた器たち -柿田遺跡にも陰陽師？-						
22	柿田遺跡（可児市）	須恵器	坏蓋	「（天）罡」	墨書	天井部内面、8世紀、北斗七星
23		山茶碗	碗	呪符状の記号	墨書	外面全体、13世紀
24		山茶碗	小皿	呪符状の記号	墨書	外面全体、13世紀

展示遺物一覧